

旧国立駅舎の  
活用に関する  
懇談会



JR国立駅前に再築される「旧国立駅舎」の  
**素敵な活用**をみんなで考えよう!

# 本日の趣旨説明と 再築までの流れ

解体前（平成15年ころ）の旧国立駅舎



# はじめに

**大正15（1926）年**の開業以来、まちのシンボルのひとつとして、**多くの皆さまに愛され続けてきた赤い三角屋根の「旧国立駅舎」**は中央線連続立体化工事のため、平成18（2006）年、惜しまれつつ80年という長きにわたる駅舎としての役目を終えました。

しかし、解体を惜しむ多くの方々の声を受け、レプリカではなく、そのものを将来再築できるよう、解体された部材を市が大切に保管してきました。

本年2月1日、地権者であるJR東日本との協議がととのい、旧国立駅舎が元あった土地を取得することができ、再築実現がいよいよ近づいてきています。

この間、「国立駅周辺まちづくり会議」など様々な場で、専門家、市民、関係機関の方々から国立駅周辺整備に関するご意見をいただき、検討を重ねてきています。

これから市は、**平成32（2020）年**春ごろに、**文化・観光・景観**をコンセプトとした情報発信の施設として、旧国立駅舎を**保管している部材を利用してほぼ元の位置に再築**することをめざしています。



# 本日の趣旨

これから、旧国立駅舎の概要や、現時点での旧国立駅舎の再築後の活用方針案についてご紹介します。

その内容をもとに、本日までご参加いただいている皆さまで、  
**旧国立駅舎を具体的にどのように活用するか、アイデアを出し合っ**ていただきます。

本日**皆さまから出していただくご意見をできるだけ取り入れ**、再築する旧国立駅舎が国立らしい魅力的な施設として生まれ変わることができるようにしたいと考えています。

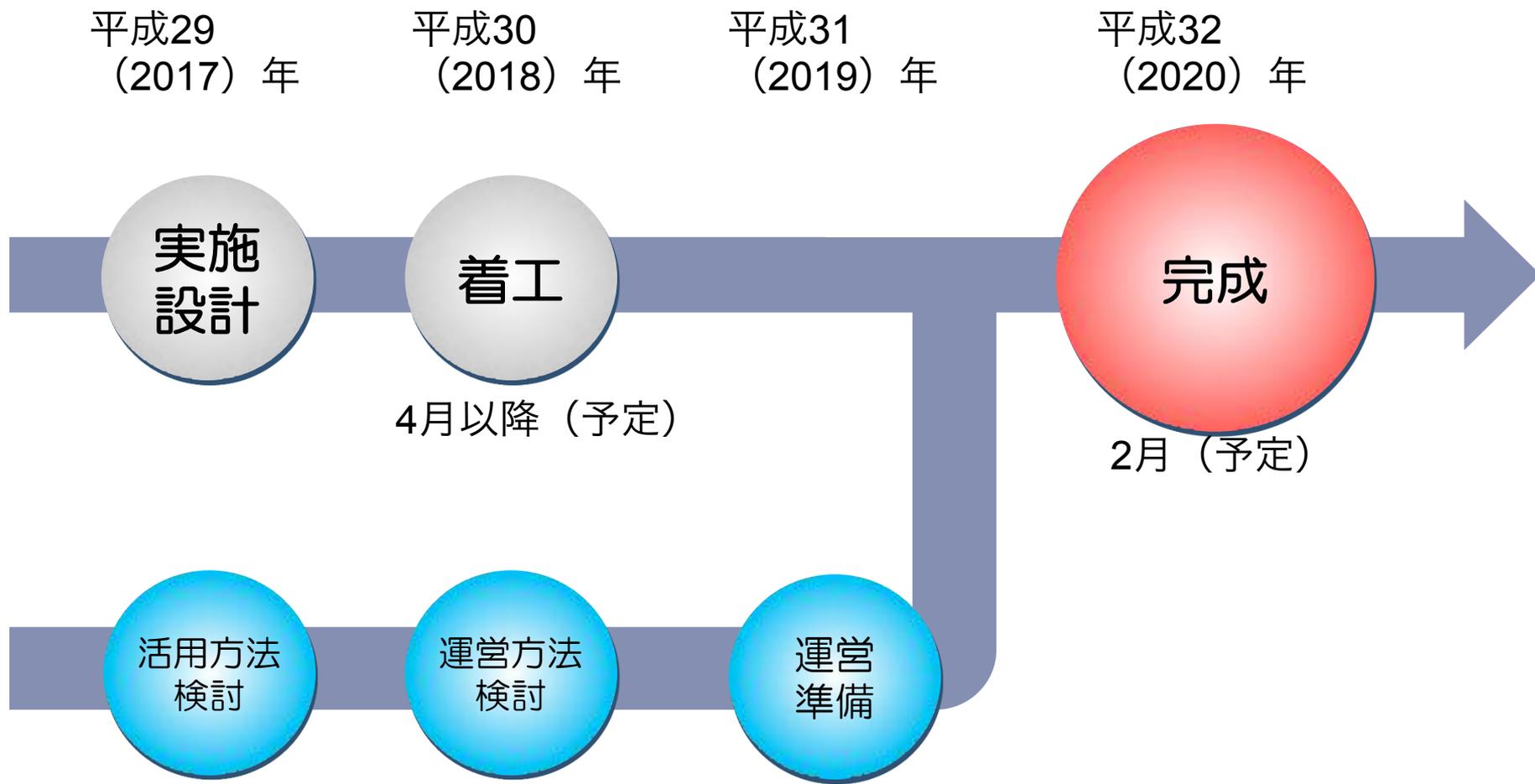
皆さまから出していただくご意見をもとにした検討成果は、来年2月に実施予定の「駅前報告会」や、市ホームページ等にて順次お知らせする予定です。



## 今年7月に実施した駅前報告会の様子



# 旧国立駅舎完成までのスケジュール



# 旧国立駅舎の概要

# 旧国立駅舎の特徴

旧国立駅舎は、木造平屋、本屋の小屋は明治期から大正期にかけての典型的な構造技法であるキングポストトラスの洋小屋で、ひさし部分などには古レールが柱として使われていました。旧国立駅舎は、三角屋根にロマネスク風の半円窓がつけられており、特徴的です。



小屋組（キングポストトラス）の状況（解体時撮影）



南側ひさし

創建当時の旧国立駅舎



# 旧国立駅舎と国立学園都市計画

国立のまちの最初の構想は、西武創業の祖である堤康次郎が創立した箱根土地(株)（現（株）プリンスホテル）と東京商科大学（現一橋大学）の間に結ばれた覚書に書かれています。この中では、駅舎は大学町にふさわしいものとするように特に言及されており、駅とまちが一体となった優れた都市計画の貴重な事例です。英国田園都市と米国近代都市計画の影響を受けていると考えられています。

## ●大正14年9月9日付覚書（要旨）

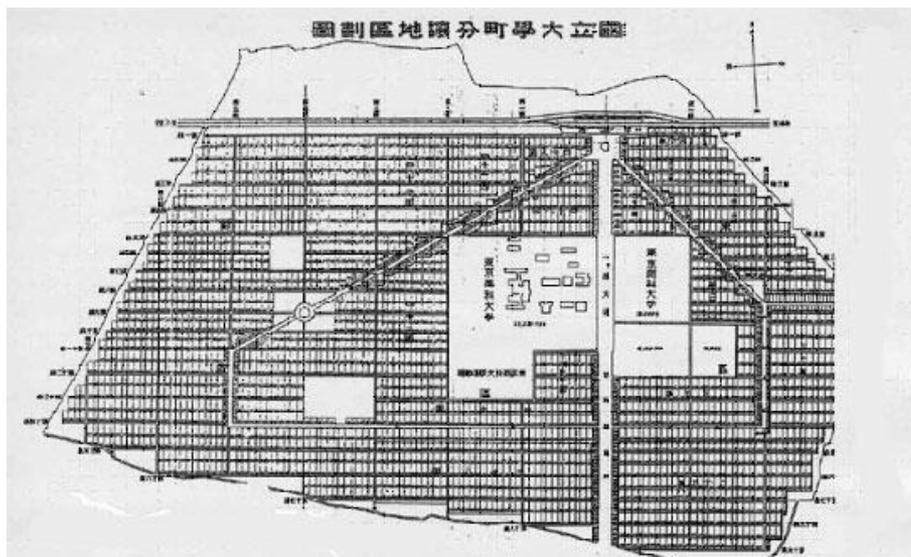
停車場：交通と外観を考慮し入念に建築する。 けん

道路：相当の広場を設け、大学通りは幅員を24間とする。また、幹線道路と約45度の放射状道路（富士見通り、旭通り）と大学通りに直行する道路は幅員10間とし、その他は2間～5間の幅の道路を出来る限り整然とした区割りのもとに施工する。 ※1間＝約1.8m



# 国立大学町の街路は現在までのこっています

## ●昭和2（1927）年の分譲ちらし



(所蔵：くにたち郷土文化館)

## ●現在の国立駅周辺の街路



(出典：平成29年5月16日付東洋経済ONLINE「国立「三角屋根の駅舎」復活までの長い道のり」  
地図画像©OpenStreetMap.org contributors)

大学通りからみた旧国立駅舎

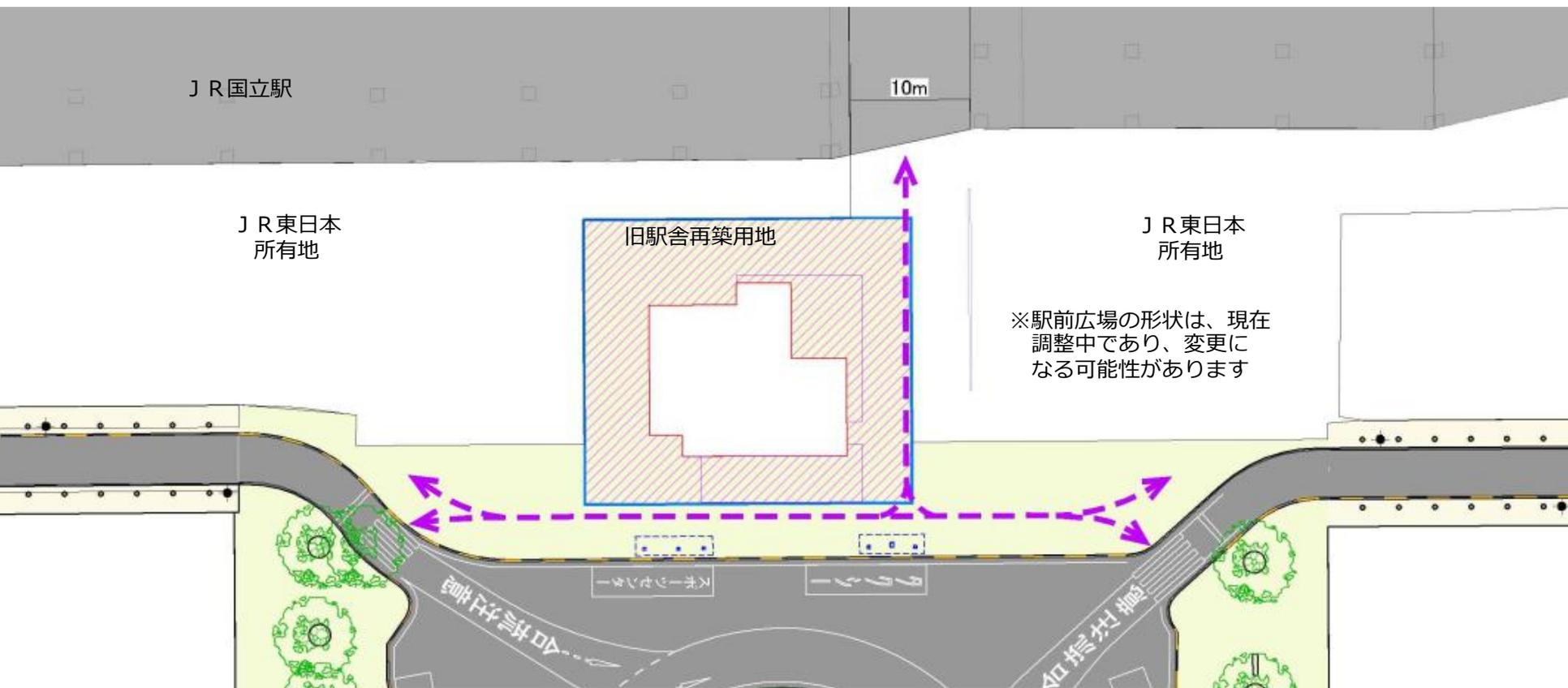


平成18年ころ



平成22年ころ

# <参考> 再築位置（平面図）



▶旧国立駅舎をほぼ元の位置に再築し、他駅にはない景観、街並みを回復します。

# 再築にもなう前提条件

- ①文化財として再築すること
- ②国立駅周辺まちづくり基本計画にもとづく内容であること
- ③国庫補助金を受けて行う事業であること

# ① 国⽴市指定有形文化財（建造物）

- 旧国⽴駅舎は、現存当時は都内で原宿駅などに次ぎ古い希少な大正期駅舎の木造建築物であったこと等から、平成18（2006）年に国⽴市指定有形文化財（建造物）に指定されました。
- 文化財として創建当時の大正15（1926）年の姿で再築することをめざしています。
- 文化財として再築するため、間取りが変更できない等、建物の制約条件があります。

## ② 「国立駅周辺まちづくり基本計画」における 旧国立駅舎の位置付け

### ●基本計画の「まちづくりの理念」と「まちづくりの目標」

旧国立駅舎の再築は、「まちづくりの理念」にもとづくコンセプトのうち、「文化」・「観光」・「景観」をコンセプトとしたプロジェクトとして設定しています。

また、「まちづくりの目標」のうち、「市内外の人々が集う交流拠点」・「シンボル性」・「市内回遊性の向上」・「文化の発信」を目標としています。



# 駅周辺3施設の機能一覧

「まちづくり理念」にもとづく各コンセプトおよび機能を、「国立駅周辺まちづくり会議」等における議論を踏まえ、国立駅周辺に新たに整備される3施設にそれぞれ配置しました。



## 高架下市民利用施設

～コンセプト～  
市民生活



整備工事（予定）  
平成29（2017）年度

※北側から見た整備後の高架下市民利用施設のイメージ

## 国立駅南口複合公共施設

～コンセプト～  
子ども・文化・賑わい



整備工事（予定）  
平成32（2020）年度～平成33（2021）年度以降

※このイメージ図はあくまで一例です。

# <参考> 駅周辺3施設の機能一覧

国立駅周辺に望まれる公共施設	導入する施設・機能	整備場所(※)	理由・説明
駐輪場	駐輪場	●複合	南口複合公共施設の附置義務分を整備する。
駐車場	駐車場	●複合	南口複合公共施設の附置義務分を整備する。
図書館	図書の貸出・返却	●高架下	高架下市民利用施設に導入する市民サービスコーナーに併設し、図書の貸出・返却機能に特化して実施する。
	絵本の部屋	●複合	南口複合公共施設に導入する子育てひろばに、子ども向けの絵本等に特化した絵本の部屋を設置する。
市役所出張所	市民サービスコーナー	●高架下	住民票等が取得できる市民サービスコーナーを高架下市民利用施設に整備し、市民の利便性の向上を図る。
	女性等相談	●高架下	女性等を対象とした相談事業の実施と、より一層の啓発活動を行う施設を整備する。
公園・緑地・緑	子育てひろば	●複合	子どもが安全に遊べ、親子の交流ができる子育てひろばを整備する。 緑地・緑については、民間事業者による屋上緑化等の整備を誘導していく。
保育園・幼稚園・託児所	一時保育	●複合	南口複合公共施設に導入する子育てひろばに、一時保育機能を付与し、国立駅周辺を利用する子育て世代を支援する。
トイレ	トイレ	●複合 ●高架下	市民向けのトイレを整備する。
ギャラリー・美術館 ホール・イベント会場	多目的ホール	●複合	文化・芸術の充実と発信を行う文教都市にふさわしい施設を整備する。
	展示ギャラリー	●旧駅舎 ●高架下	市の文化・歴史等について発信するスペースを整備する。
待ち合わせ場所 ベンチ・休憩スペース	オープンスペース	●旧駅舎 ●高架下	市民や来訪者が交流でき、気軽に憩えるスペースを整備する。
会議室	会議室	●高架下	高架下市民利用施設に導入する市民サービスコーナーに付随した会議室を整備する。
観光案内所	観光案内所	●旧駅舎	市民や来訪者に市の魅力等を発信する。

※整備場所 ●複合：南口複合公共施設 ●旧駅舎：旧国立駅舎 ●高架下：高架下市民利用施設



# <参考> 国立駅周辺整備計画（案）

国立駅周辺まちづくり基本計画や国立駅周辺まちづくり会議等を踏まえて市が平成26年7月に公表しました。

## ●主な内容

- ・南口駅前広場は **ロータリー機能を残したまま、歩道空間を拡幅**
- ・円形公園の非日常的な活用
- ・旧国立駅舎をほぼ元の位置に文化財として再築
- ・交通体系の見直しを含んだ周辺の道路整備
- ・北口駅前に広場空間を確保



### ③都市再生整備計画（社会資本整備総合交付金）

各居室について次のように国へ都市再生整備計画を提出し、社会資本整備総合交付金を受けています。

旧広間→**多目的室**として活用

旧出札室→**観光案内所**として活用

旧手小荷物扱所→**展示室**として活用

＜交付金申請内容＞

・多目的室、観光案内所には「観光交流センター」として交付金が交付される。

利用者→**観光客および地域住民**

利用目的→**観光案内や観光客と地域住民との交流**

＜交付金対象事案に対する制限＞

- ・**収益が維持・管理費を上回ってはならない。**
- ・物品等の販売を主目的とする施設としてはならない。



# 平面図

**管理室** として活用  
従事する職員の控室等、管理スペースとします。

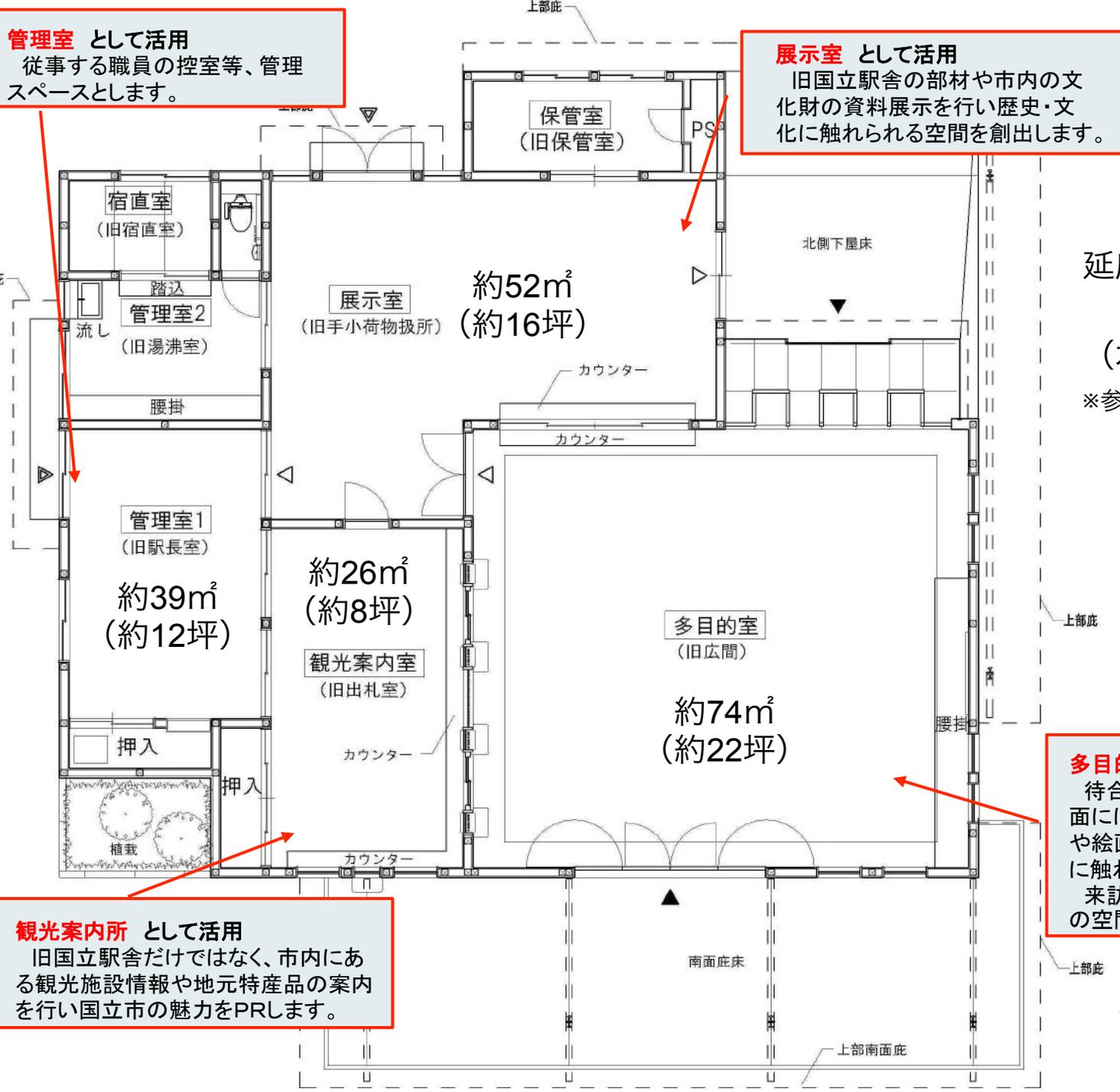
**展示室** として活用  
旧国立駅舎の部材や市内の文化財の資料展示を行い歴史・文化に触れられる空間を創出します。

延床面積 約200㎡  
約60坪  
(木造平屋1階建て)

※参考：テニスコート  
(ダブルス)  
=約260㎡

**観光案内所** として活用  
旧国立駅舎だけでなく、市内にある観光施設情報や地元特産品の案内を行い国立市の魅力をPRします。

**多目的室** として活用  
待合所としてだけでなく、壁面には昔の旧国立駅舎の写真や絵画を展示し、国立市の歴史に触れる空間を創出します。  
来訪者が情報交流できる憩いの空間を提供します。



# 多目的室(旧広間) 内観イメージ図

※内観は変更となる可能性  
があります



南側出入口

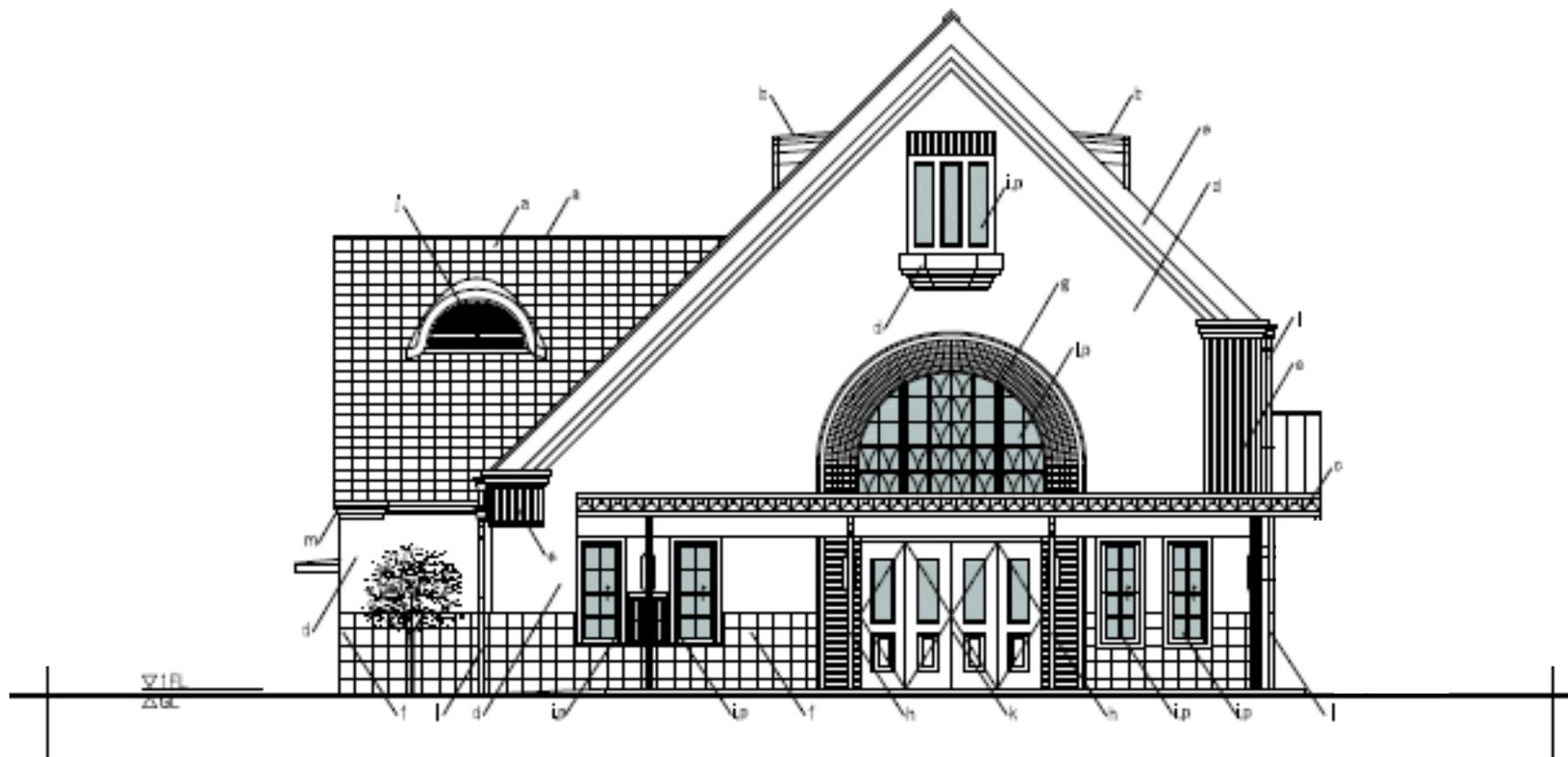
展示室窓  
(旧手小荷物扱所窓口)

北側出入口  
(改札復原)

展示室扉

観光案内室窓  
(旧出札所窓口)

# 南立面图



## ④その他

- ・旧国立駅舎は文化財として管理運営するため、**開館時間を設定予定**。管理運営者未決定
- ・旧国立駅舎は原則入館無料とする予定
- ・旧国立駅舎は食品衛生法における営業設備の基準を満たさないため、**弁当類の販売や喫茶店営業は不可**（野菜や温度管理が不要な一部の食品は販売可能）

### 【参考】

施設	開館時間	休館日	料金
国立市公民館	8:30～22:00	毎週月曜日、年末年始	無料
くにたち 郷土文化館	9:00～17:00 (入館は 16:30まで)	第2・第4木曜日、 年末年始 等	・常設展：無料 ・企画展・特別展：別途設定 ・講堂の使用：4,800円（全日） ・研究室の使用：2,700円（全日） ・特別展示室の使用：7,200円（全日）
国立市古民家	9:00～17:00	第2・第4木曜日、年末年始 等	無料
城山さとの いえ	9:00～17:00	第2・第4木曜日、 年末年始	・情報展示スペース：100円～200円 (1時間あたり) ・体験スペース（屋外）：100円～300円 (1時間あたり)



# 前提条件のまとめ（6W1H）

いつ(When)	平成32（2020）年に
どこで(Where)	ほぼ元の位置（JR国立駅前）に
誰が(Who)	国立市が
何を(What)	旧国立駅舎（多目的室・観光案内所・展示室・管理室）を
なぜ(Why)	「市内外の人々が集う交流拠点」・「シンボル性」・ 「市内回遊性の向上」・「文化の発信」のために
どのように(How)	文化財として創建当時の大正15（1926）年の姿で再築する
誰のために((for) Whom)	住民や観光客のために



# 活用の方針（案）



これまでの経緯と前提条件を踏まえたうえで、具体的などのような活用ができるか考えていく必要があります。

これ以降は、これまで様々な場でいただいた市民の方々、関連団体の方々、専門家の方々からのご意見や思いを総合的に勘案した内容のご紹介です。

あくまでも現段階でいただいたご意見をもとにした「案」であり、決定事項ではありません。

## 活用コンセプト

### ●「シンボル性」

- ・市民一人ひとりが、自分の住むまちへの愛着や誇りを持てるよう、国立らしい美しく個性的なまちづくりのシンボルとします
- ・次世代に継承すべき文化財として、まちのシンボルである旧国立駅舎を保存します
- ・単にシンボル、文化財としてではなく、「まちづくりの駅」として活用を図ります

### ●「市内外の人々が集う交流拠点」

- ・市民や来訪者が気軽に集うことのできる、美しい憩いの空間とします（日常時）
- ・市民や来訪者が集い、交流する、まちの賑わいを創出する空間とします（イベント時）

### ●「市内回遊性の向上」

- ・市民や来訪者がまちのことをよく知り、まちを巡るために、市内全域の歴史や魅力を集約し発信する「国立と出会う玄関口」にします

### ●「文化の発信」

- ・旧国立駅舎の文化財としての価値を後世に残し、伝えます
- ・文教都市にふさわしい、歴史・文化・芸術を発信します

※上記はあくまでも案であり、実際に決まったものではありません。



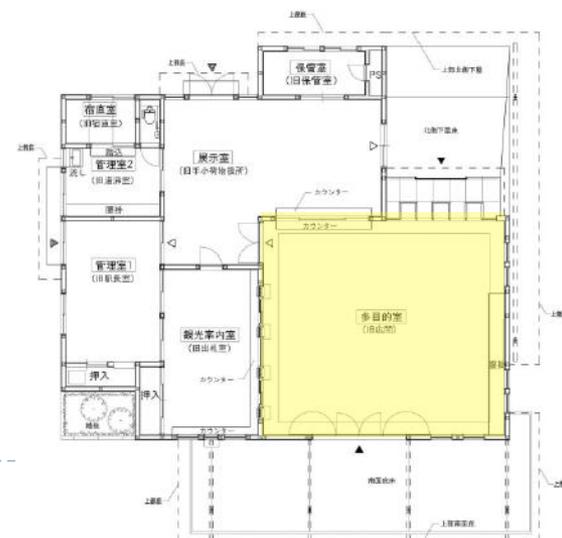
## 活用の方針（案）

# 多目的室（旧広間）

…広さ 約74m<sup>2</sup>（約8.2m×約9.1m）

- ・ 日常時は、落ち着いた雰囲気のある憩いの場・待ち合わせの場  
（旧国立駅舎の廃材を利用したベンチを設置）
- ・ 様々な情報を表示する電子看板を設置
- ・ さくら開花・天下市・クリスマス等の時期にイベントに使用  
（内容未検討）
- ・ 上記期間以外は民間企業や地域住民が予約制でイベントに使用可能
- ・ まち歩き系イベントの起点として活用

※上記はあくまでも案であり、  
実際に決まったものではありません。



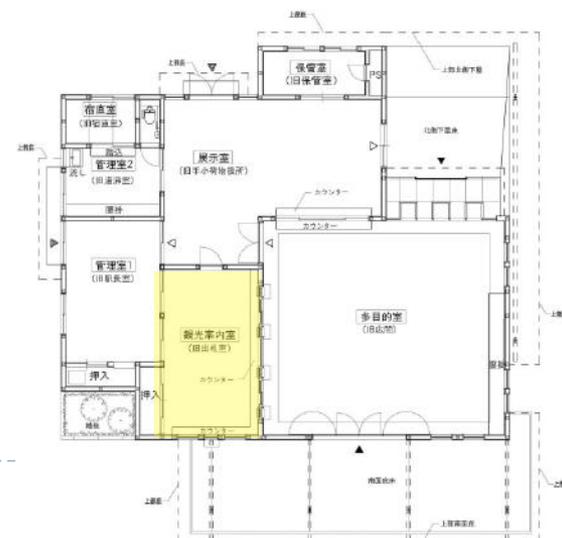
## 活用の方針（案）

# 観光案内室（旧出札室）

…広さ 約26㎡（7.2m×約3.6m）

- ・市内の観光情報を集約
- ・ジャンル別にパンフレットやまち歩きマップ等を設置
- ・市内案内図を設置
- ・旧出札窓口から覗いた形で写真撮影できる
- ・旧出札窓口の一部または南側窓を観光案内所の窓口として活用
- ・市内商店等の紹介につながるアンテナショップのような物販

※上記はあくまでも案であり、  
実際に決まったものではありません。





## その他

### 【その他】

- ・ 夜間ライトアップ
- ・ キッチンカーを建物脇に駐車させ、飲み物等を販売（イベント時）

### 【運営】

- ・ 今年度に行う活用方法の検討を踏まえ、来年度に検討

※上記はあくまでも案であり、  
実際に決まったものではありません。



# 本日の進め方

## グループワーク



# 話し合いの約束

1. 他の方の意見を攻撃的に否定したりせずに、いろいろな考えの方がいることを理解しましょう
2. たくさんのことを言いたい時でも、なるべく多くの方が議論に参加できるように、ほどほどに
3. 全体の進行がスムーズに行くように協力しましょう



# 意見やアイデアをふせんに書いて出し合う

- 言葉はわかりやすく。見やすさも配慮を。
- 体言止めより「動詞」など言葉に動きを。「形容詞」も大切に。

## ダメな書き出し

公園は緑豊かでフリーマーケットも出来る場所がいいが、ホームシスのたまり場になっては困る

複数意見

## 良い書き出し

公園は緑豊かにフリーマーケット出来る場所  
ホームシスのたまり場は困る

抽象的

住民の役割

管理は住民で行おう

小さな文字

緑豊かな公園にしよう

緑豊かな公園にしよう

# グループワークを始めましょう！

## テーマ①

旧駅舎活用コンセプトを聞いて感じたことを共有しよう

## テーマ②

旧駅舎の具体的な活用アイデアを出してみよう

- ◆どんな方々に来て欲しいか(具体的な利用者像をイメージする)
- ◆どんな機能があるといいか(利用のシーンをイメージする)